

2017年9月26日

横浜ゴム、ヨコハマ史上最高の静粛性を提供する プレミアムコンフォートタイヤ「ADVAN dB V552」を発売

横浜ゴム(株)は、グローバル・フラッグシップブランド「ADVAN(アドバン)」の新商品「ADVAN dB V552(アドバン・デシベル・ブイゴーゴニ)」を11月1日より日本にて発売を開始する。発売サイズは265/35R18 97W XL~155/65R14 75Hの全24サイズ。今後も順次サイズ追加を計画している。価格はオープンプライス。

「ADVAN dB V552」は2009年に発売された「ADVAN dB」の後継モデルで、「車内の空気感を変える、かつてない静粛性※1」をコンセプトに開発されたプレミアムコンフォートタイヤ。かつてない高い静粛性能※1がもたらす驚きの車内空間を実現し、ドライバーへより価値ある時間を提供することを目指した。パターンデザイン、プロファイル形状、内部構造、部材レベルの設計に至るまですべてをゼロから見直し、“緻密”に再設計することで、従来品比で騒音エネルギーを32%低減※2した。また、よりシリカの分散性を高めたコンパウンドなどを新たに開発し採用。これにより、ウェットグリップ性能と低燃費性能を大幅に向上し、国内タイヤラベリング制度において、全サイズで転がり抵抗性能“A”を、多くのサイズ※3でウェットグリップ性能最高グレード“a”を獲得している。

「ADVAN dB V552」はプレミアムセダンをはじめ、プレミアムミニバンやEV、ハイブリット、コンパクトカー、軽自動車など従来に比べ様々な車両タイプのドライバーからの静粛性へのニーズが高まりつつあることを受け、幅広いサイズラインナップを有することで多くのドライバーの期待に応えていく。

なお、同商品は10月25日~11月5日(一般公開は10月28日~)に東京ビッグサイトで開催される「第45回東京モーターショー2017」の横浜ゴムブースにおいて展示を予定している。

※1: “かつてない” “これまでにない” は、ヨコハマタイヤ史上において、を意味します。

※2: 詳細は性能データをご覧ください。性能データについてはタイヤ公正取引協議会に届け出てあります。

※3: ウェットグリップグレード 24サイズ中 “a” 19サイズ、“b” 5サイズ



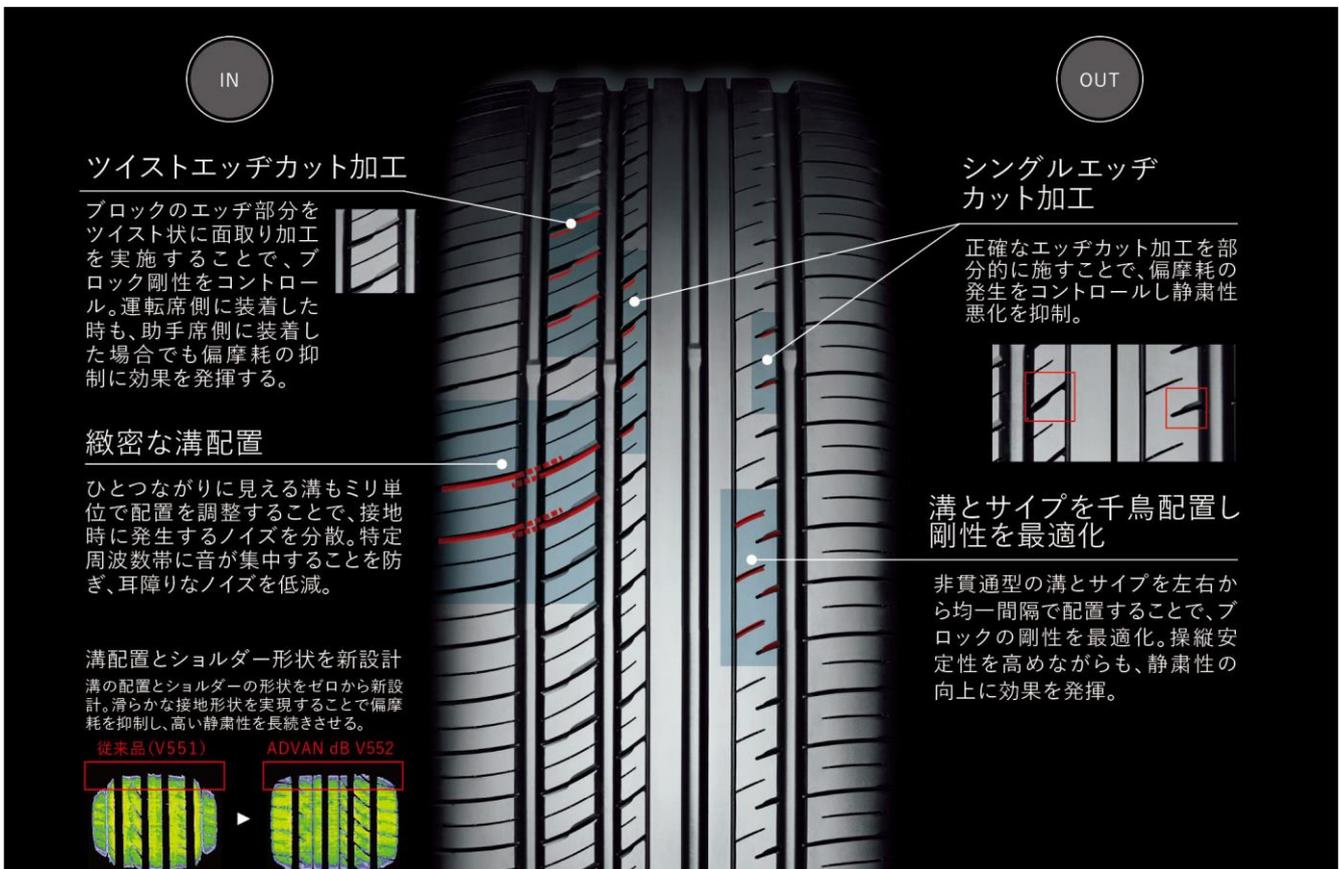
発売サイズ

インチ	扁平率	タイヤサイズ	ラベリング	
			転がり抵抗	ウェットグリップ
18	35	☆265/35R18 97W	A	a
	40	245/40R18 93Y	A	a
	45	225/45R18 91W	A	a
	50	235/50R18 97W	A	a
17	45	☆215/45R17 91W	A	a
		225/45R17 91W	A	a
	50	☆215/50R17 95V	A	a
		225/50R17 94W	A	a
	55	215/55R17 94W	A	a
		225/55R17 97W	A	a
16	55	195/55R16 87V	A	a
		205/55R16 91W	A	a
	60	205/60R16 92V	A	a
		215/60R16 95V	A	a
		225/60R16 98W	A	a
15	55	165/55R15 75V	A	b
		195/55R15 85V	A	a
	60	185/60R15 84H	A	b
		195/60R15 88H	A	a
	65	175/65R15 84H	A	b
		185/65R15 88H	A	b
		195/65R15 91H	A	a
		205/65R15 94H	A	a
14	65	155/65R14 75H	A	b

☆印はエクストラロードタイヤ。

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株）広報部 担当：鈴木
 TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

贅沢なまでの静かさを生むパターンデザイン



ウェット性能と燃費性能も高めた専用コンパウンド&プロファイル

New dBコンパウンド

ADVAN dBのためにキャップコンパウンドを新開発。低燃費性能とウェット性能をより高い次元でコントロールする。

サイレント・ベースゴム

キャップコンパウンドのベースとなるゴムの厚みをサイズ毎に最適化。ゴムの振動をコントロールし、人間の耳につく100～160kHzの周波数域のノイズを低減している。

低燃費サイドゴム

クルマの重量を支え、常に変形を繰り返すサイド部の発熱を抑える低燃費ゴムを採用。燃費性能を向上させる。
※サイズによって仕様が異なります。

幅広サイレント・ベルト構造

一般的なタイヤのベルトよりも幅の広いベルトを採用。ノイズの原因となる、ショルダー部の振動を大幅に抑制し、静粛性を高める。

サイレント・エッジカバー

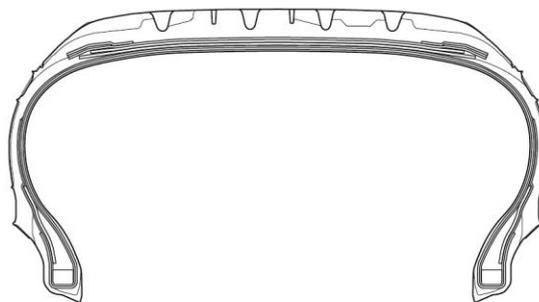
ベルト末端部の剛性をより高次元でコントロールし、タイヤショルダー部の振動を抑制。中周波域のノイズを低減する。
※サイズによって仕様が異なります。

サイド補強ベルト

重量級のプレミアムカーにおいても、確かなハンドリングと乗り心地を実現する。
※サイズによって仕様が異なります。

静かさを追求した、ADVAN dB専用
プロファイル

プロファイルを一新し、接地面がよりフラットな形状へ。接地形状を正確にコントロールすることで、燃費性能、操縦安定性、耐摩耗性能を格段に向上した。



サイド部全体で衝撃を吸収する美しいプロファイル。

タイヤのサイド部は車の重量を支えながら常に変形し続けている。形状が無理があると衝撃は1点に集中し、振動となって車内にノイズを生む。dBの新プロファイルは、衝撃をタイヤ全体で吸収する形状を追及。新たに開発した美しいプロファイルで振動の発生を抑制し、静粛性を向上する。

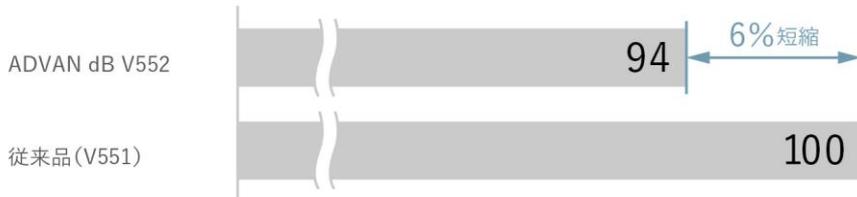
性能比較データ

ロードノイズ性能比較(前席・60km/h)



●ロードノイズ(試験方法)当社テストコース内ロードノイズ路を走行した際の60km/h速度での車内音を計測。〈試験条件〉タイヤサイズ:215/55R17 94W V552、215/55R17 94W V551、リムサイズ:17x7J、空気圧230kPa、荷重2名乗車相当、車両トヨタ クラウン(DBA-GRS210、2499cc、後輪駆動)、マイク位置:前席運転席の助手席側耳位置

ウェット制動性能比較



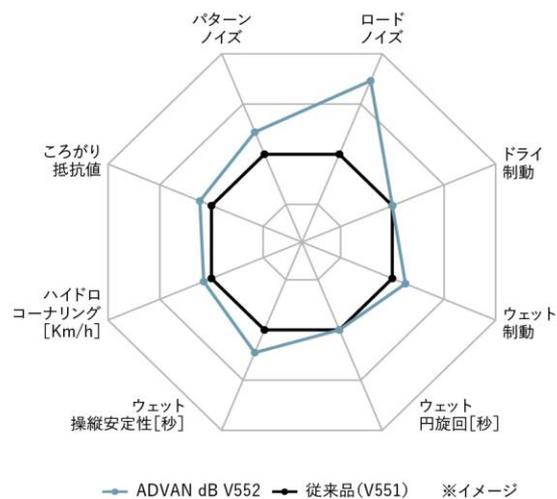
●ウェット制動 [m](試験方法)当社テストコースにてGPS付計測器装着によるブレーキ試験を実施。各タイヤ5回計測の平均値を算出。〈試験条件〉タイヤサイズ:215/55R17 94W V552、215/55R17 94W V551、リムサイズ:17x7J、空気圧230kPa、荷重2名乗車相当、車両トヨタ クラウン(DBA-GRS210、2499cc、後輪駆動)、ABS作動有、速度100km/h、水深1mm

ころがり抵抗値比較



●ころがり抵抗値 国内タイヤラベリング制度に基づき公正取引委員会に届出を行った「ころがり抵抗値」に関する申請値の比較において。タイヤサイズ:195/60R15、申請値:V551[9.0]、V552[8.6]

性能チャート



プレミアムカーに馴染む高級感あるサイドデザイン
角度、太さの異なるラインを繊細に配列したサイドデザインは、プレミアムカーの足元をより印象的に引き立てる。



サイズによってパターンデザインを最適化

タイヤサイズにより、パターンデザインを最適化。それぞれにベストなパフォーマンスを発揮できるようチューニングしている。



厳しい独自基準で品質を管理

ヨコハマタイヤの工場では、厳しい独自基準で品質を管理。熟練のスタッフが最終工程に至るまでタイヤ細部のチェックを行っている。



●パターンノイズ(試験方法)当社テストコース内総合試験路を走行した際の60km/h速度での車内音を計測。〈試験条件〉タイヤサイズ:215/55R17 94W V552、215/55R17 94W V551、リムサイズ:17x7J、空気圧230kPa、荷重2名乗車相当、車両トヨタ クラウン(DBA-GRS210、2499cc、後輪駆動)、マイク位置:前席運転席の助手席側耳位置●ロードノイズ(試験方法)当社テストコース内ロードノイズ路を走行した際の60km/h速度での車内音を計測。〈試験条件〉タイヤサイズ:215/55R17 94W V552、215/55R17 94W V551、リムサイズ:17x7J、空気圧230kPa、荷重2名乗車相当、車両トヨタ クラウン(DBA-GRS210、2499cc、後輪駆動)、マイク位置:前席運転席の助手席側耳位置●ドライ制動 [m](試験方法)当社テストコースにてGPS付計測器装着によるブレーキ試験を実施。各タイヤ5回計測の平均値を算出。〈試験条件〉タイヤサイズ:215/55R17 94W V552、215/55R17 94W V551、リムサイズ:17x7J、空気圧230kPa、荷重2名乗車相当、車両トヨタ クラウン(DBA-GRS210、2499cc、後輪駆動)、ABS作動有、速度100km/h●ウェット制動 [m](試験方法)当社テストコースにてGPS付計測器装着によるブレーキ試験を実施。各タイヤ5回計測の平均値を算出。〈試験条件〉タイヤサイズ:215/55R17 94W V552、215/55R17 94W V551、リムサイズ:17x7J、空気圧230kPa、荷重2名乗車相当、車両トヨタ クラウン(DBA-GRS210、2499cc、後輪駆動)、ABS作動有、速度100km/h、水深1mm●ウェット円旋回 [秒](試験方法)当社テストコース内スキッドパッド(半径30m)にて、半径30mで走行可能な最高速度での、定常円旋回を行った場合のラップタイムを計測。各タイヤ5回計測を行い、最大・最小を除いた3回の平均値を算出。〈試験条件〉タイヤサイズ:215/55R17 94W V552、215/55R17 94W V551、リムサイズ:17x7.5J、空気圧200kPa、荷重2名乗車相当、車両トヨタ クラウン(DBA-GRS210、2499cc、後輪駆動)●ウェット操縦安定性 [秒](試験方法)当社テストコース内WETハンドリング路にて、走行可能な最高速度での走行を行った場合のラップタイムを計測。各タイヤ7回計測を行い、最大数値、2番目に大きい数値および最小数値、2番目に小さい数値を除いた3回の平均値を算出。〈試験条件〉タイヤサイズ:215/55R17 94W V552、215/55R17 94W V551、リムサイズ:17x7J、空気圧230kPa、荷重2名乗車相当、車両トヨタ クラウン(DBA-GRS210、2499cc、後輪駆動)●ハイドロ(コーナリング)(試験方法)当社テストコースにて半径R100の水膜を設けたレーンにて、加速度センサー装着による加速時の最大化速度が発生する速度を計測。〈試験条件〉タイヤサイズ:215/55R17 94W V552、215/55R17 94W V551、リムサイズ:17x7J、空気圧230kPa、荷重2名乗車相当、車両トヨタ クラウン(DBA-GRS210、2499cc、後輪駆動)、試験速度40~80km/h、水深10mm●ころがり抵抗値 国内タイヤラベリング制度に基づき公正取引委員会に届出を行った「ころがり抵抗値」に関する申請値の比較において。タイヤサイズ:195/60R15、申請値:V551[9.0]、V552[8.6]

※タイヤの表示に関する公正競争規約に定められた試験方法で試験を行っています。
詳細なデータはタイヤ公正取引協議会に届け出ています。試験結果はあくまでもテスト値であり、運転の仕方によっては異なります。

$$\text{騒音エネルギー低減率(\%)} = \left(\frac{1}{10^{\frac{\text{差}}{10}}} - 1 \right) \times 100$$